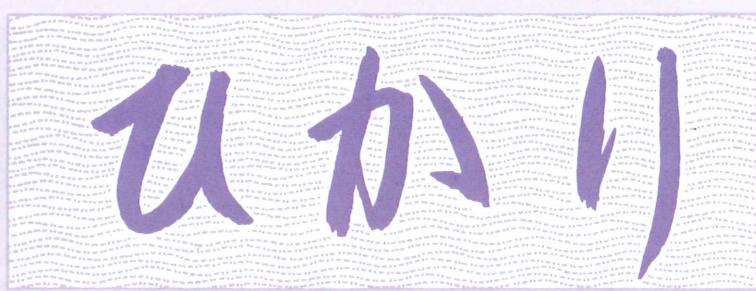


夜寝るも
昼の稼業も一つこと
ナムアミダブと
寝たり起きたり
妙好人
浅原才市翁



No. 87

2012年(平成24年)

7月1日

発行

浄土真宗本願寺派

和歌山教区日高組

責任者

片桐淨映



善宗寺 降誕会(おもちまき)

阿弥陀經に聞く

「おののおのその国において、広長の舌相を出し、あまねく三千大千世界に覆ひて、誠実の言を説きたまはく」
仏さまがほめるときは、舌が広がり、三千世界をも覆うほど広がって、阿弥陀さまをほめていると言うことです。
「なんぢら衆生、まさにこの不可思議の功德を称讃したまふ一切諸仏に護念せらるる経を信ずべし、と」
諸仏が阿弥陀さまを褒め称え、阿弥陀さまが南無阿弥陀仏となつて人々に届き、救うことのすばらしさをほめているのです。

(口) 南方

『舍利弗、南方の世界に、日月燈仏・名聞光仏・大焰肩仏・須弥燈仏・無量精進仏、かくのごときら恒河沙数の諸仏まして』

大焰肩仏っていう仏さまは、「北方」と「上方」にも出てくる。

同名異仏(名前が同じで別の仏さま)です。

(八) 西方

『舍利弗、西方の世界に、無量寿仏・無量相仏・無量幢仏・大光仏・大明仏・宝相仏・淨光仏、かくのごときら恒河沙数の諸仏まして』

この無量寿仏アミダさまと思う人が多い。アミダを中国語にしたら無量寿ですから、アミダ仏=無量寿仏になるけれど、それだとアミダさまがアミダさまを褒め称えたことになつて、自画自賛をしていることになる。これも大焰肩仏と同じで同名異仏です。

(二) 北方

『舍利弗、北方の世界に、焰肩仏・最勝音仏・難沮仏・日生仏・綱明仏、かくのごときら恒河沙数の諸仏まして』
恒河沙数はインドのガンジス川の河砂のような数という意味です。これは生きとし生けるものの数ともいわれ、約六千年の全世界の人口に相当するともいわれています。一人ひとりの生老病死の営みに生まれては死んでいった人々の願いの込められて、成就したもののです。

(永原智行)

組長就任にあたつて

円行寺住職
片桐 淳映

されます。

この運動の推進のため日々組委員会を設置し実践運動を推進していく所存であります。

今後とも、皆様方のご協力をお願い申し上げご挨拶とさせていただきます。

日高組 新役員紹介

組長 片桐淨映(円行寺)

副組長 楠原晃紹(妙願寺)

副組長 永原智行(教専寺)

副組長 藤本使朗(即生寺)

教区実践運動委員 萩野益次(淨明寺)

総代会委員 坂口進美(覺性寺)

部長 鈴木悟峰(善宗寺)

副部長 上西偕行(念興寺)

佛教婦人会連盟委員 宮崎幸子(光台寺)

部長 萩野益次(淨明寺)

円行寺住職 片桐淨映

鈴木前組長は、八年間組長を勤められ、組内活動にご尽力を頂きありがとうございました。

今般、三月三十一日開催の定期組会において、組長の改選が行われ新組長に就任する事となりました。

称実践運動)に名称が変更

部会長

以上

官製ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、ご感想・ご意見等を明記の上、下記までお送りください。

〒649-1223

日高郡日高町小浦195
円行寺内 日高組事務所

※抽選で10名の方に粗品を進呈いたします。

※締め切り日
平成24年9月30日(必着)

※発表は次号



今年4月に正式名称が改められ、首都圏での伝道教化の中心道場としての役割がますます期待されている寺院を、次の1~4の中から一つ選んで番号を書いてください。

- 1.山科本願寺
 - 2.築地本願寺
 - 3.津村別院
 - 4.吉崎御坊
- (京都) (東京) (大阪) (福井)

86号の正解は、「御恩報謝」でした。
正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

日高町 佐藤 菊夫 様	由良町 村上 良子 様
由良町 松下 工リ 様	由良町 平林 未廣 様
由良町 磯田 富三 様	由良町 濱崎 和代 様
由良町 前田 省子 様	由良町 佐々木磨美 様
由良町 磯崎 藤代 様	

淨土真宗では「法名」といって、「戒名」とはいいます。【戒名】は他宗の「受戒」に対して与えられるものです。

法名は本山で帰敬式(おかみそり)を受け、ご門主からいただくのが本来の形です。

帰敬式では受式者が三帰依文を称えます。

南無帰依仏(仏さまに帰依します)

南無帰依僧(仏さまの教えに帰依します)

南無帰依女(仏さまの仲間に帰依します)

受式後、「釈〇〇」と男女とも漢字二字の法名が授与されます。なお、受式者の願出により、自らが希望

門徒心得

みょうほう法名

する法名(内願法名)を受けることもできます。法名と別に「○○院」と漢字二字の「院号」があります。

院号は、永代経で一定額

以上の懸志を進納された方など、宗門の護持発展に貢献された方、または宗門もしくは社会に対する功労が顕著であると認められた方に、宗門より授与されます。

法名に釈の字を冠するのは「釈迦牟尼佛」の釈の文字で、釈迦牟尼佛の教えに帰して、仏弟子となつたことを表しています。

法名は死んでからの名前ではありません。葬儀の時、住職がおかみそりを行い法名をつけるのは、生前に帰敬式を受ける機会がなくて亡くなつた方に、ご門主に代わつて行うものです。

法名をいたぐるといふことは、これから的人生を仏法をよりどころとして生きるということを意味し、生きている間にいたぐべきものでです。

まだ法名をいただいていない方は、できるだけ早い

機会に帰敬式を受け、法名をいただきて仏教徒としての自覚をもつて生きていくましょう。

(松本秀法)

読者の声

※「御恩報謝」の意味を本願寺のホームページで拝読しましたが、これは

「食後のことば」としてだけでなく、今を生きる私達の人生、「歩む道」に欠かすことのできない大切なことなんだと気づかされました。今後も

日々の暮らしの中で実際に強くしました。

「世の中安穏なれ、 仏法弘まれかし」

1. 目がこ可愛い

朝夕の勤行は、日課の基本

「朝夕のおつとめを怠る」と目がこ可愛い。如来さまの目もこ可愛いが、お同行の目ももつとこ可愛い」とある先輩の言葉がある。「だから日本人の、世間体ばかりを気にする『恥の文化』しか

みに読ませていただきたいと思います。「お念佛は仏さまのお乳であり念佛を称えるとは、お念佛のお徳を頂戴することである」と書かれた部分が印象に残りました。

で、インターネットで調べました。

2. 日課の基本

※「ひかり」を読ませていただき勉強になります。

朝夕の勤行は、今までもなく僧侶の日課の基本である。本堂やお内仏から鑿の音が響き、莊重に読經の声が流れるとき「ここにも仏・法・僧の三宝が生きてはたらいて下さるという気がします」といった総代がありました。

3. 勤行は「勤め」

勤行は「おつとめ」であるから事情に甘えずにつとめよう。ある人の言、「おつとめというからには、時間を決めてやらねばならない。会社等に「つとめる」というのは時間を決めてそこに出るということだ。だから毎日時間を決めて鐘を鳴らしお經を読むのです。

※いつも「ひかり」を楽しみに読ませていただきたいと思います。「お念佛は仏さまのお乳であり念佛を称えるとは、お念佛のお徳を頂戴することである」と書かれた部分が印象に残りました。

※初めて出してみました。答えは解らなかつたの

で、インターネットで調べました。

4. お内仏では家族そろつててくれるさまざまの「目」

によってお育てを頑いでいる間にいたぐべきもので

たという老住職の感慨であ

り、また、大切なおつとめ

であつてもくり返しからく

ならない。

(藤田孝雄)



小引円明寺



戸津井円明寺

開基を明確にした資料はないが、開基仏の「方便法身尊像」の裏面に「永正七年（一五二〇）」と記されているところから、おそらくこの年代が正しいと思われる。

また、「日高郡志」に「開基年月不詳、第二世円海の入寂が正徳三年（一七一三）一月であること、七高僧影像の下附が正徳元年（一七一一）八月であるから、木仏阿弥陀如来本尊の下附お

が明治三十一年に再建され、戸津井円明寺は明治四十一年に当寺に合併、平成六年に再建された。

なお前住職の汝劫は、長年北米開教使として駐米し、帰国後、宗会議員及び国内内閣ともいえる「総務」を務めた。また現在、当寺ご門徒の内芝善明氏が門徒宗会議員として三期、宗門興隆発展に尽力くださっています。

日高組寺院めぐり

円明寺（由良町小引）

十二代住職 湯川 信隆

よび寺号公称はおよそ元禄前後（一六八八）～（一七〇四）であろうと推考している。

現在の本堂は小引円明寺山御影堂で営まれました。

二十日午後からの連夜法要は「無量寿会作法」がお勤めされ、二十一日の日中法要は「正信念仏偈作法」、その後「宗祖降誕奉讚法要（音楽法要）」がお勤めされました。

音楽法要は全国の宗門関係学校の生徒による讚でした。

親鸞聖人ご誕生の地、日野誕生院で「誕生会」が営まれました。

親鸞聖人ご誕生の地、茶席が催されました。

宗祖降誕会

しううそごうたんえ

歌衆の合唱やオルガンの演奏でお勤めされる独特な雰囲気の法要です。

また、法要と併せて厳かで優雅な演奏の「雅樂獻納会」や南能舞台（重要文化財）での祝賀能、飛雲閣（国宝）でのお

な、十九日には親鸞聖人ご誕生の地、日野誕生院で「誕生会」が営まれました。



日高組通信

☆行事報告

・日高組組会

三月三十一日（土）、由良

町衣奈・信行寺に於いて平

成二十三年度定期組会を住

職・門徒組会議員さんの参

加により二十三年度事業・

会計報告、二十四年度事業

計画・予算について審議し

ました。

組長・教区会議員の任期満

了に伴う選任を行いました。

・日高組総代会総会・研修会
四月二十八日（土）、由良町念興寺に於いて、二十三年度事業・会計報告、二十四年度事業計画・予算について審議、役員改選が行われた。その後、「法名・戒名」についての研修会を開催した。

・日高組仏教婦人会連盟の追悼法要並びに総会
四月二十九日（日）日高町賀、即生寺に於いて、物故会員の追悼法要（物故会員四十一名）の勤修。

その後、総会を開催しました。

☆行事予定

・日高組子供の集い（キッズ・サンガ）

今年も昨年同様に夏休み期間中に日高組内の各寺院の子どもたちが仏さまの元に集い、楽しく一時を過ごす催しです。詳細は、各寺

院のご住職にお尋ね下さい。